

令和2年度予算のテーマ

人生100年時代の到来やAI、IoTなどテクノロジーの革新、SDGsの進展、地球規模のダイナミックな社会変化を見据え、大きな節目を迎えるこれから10年の取り組みが小松市の未来を大きく左右すると考えられます。
このような大変革を「未知のチャンス」と捉え、令和2年度の当初予算は、次のテーマに基づき編成しています。

Policy2020 当初予算5つのテーマ

1. 80周年と新幹線小松駅開業に向かって

2. 「学び」と「共創」のチカラを高め、SDGs未来都市をリード
ー東京オリパラを追い風にー

3. さらに笑顔あふれる小松市へー住みよさTOP10へー

4. ふるさと小松を未来へつなぐーPASS THE BATONー

5. 新時代、新技術を。国際都市こまつへの変革



特別会計

国民健康保険や介護保険などの特定の事業を行うために、一般会計とは別に保険料などの収入を集めて運営する事業が特別会計です。

会 計 名	予算額	対前年比
国民健康保険事業	102億5,400万円	▲2.1%
介護保険事業	101億2,700万円	0.7%
公債管理	90億6,920万円	0.8%
産業団地事業	9億6,530万円	159.8%
後期高齢者医療	15億8,600万円	4.2%
合 計	320億 150万円	1.8%

企業会計

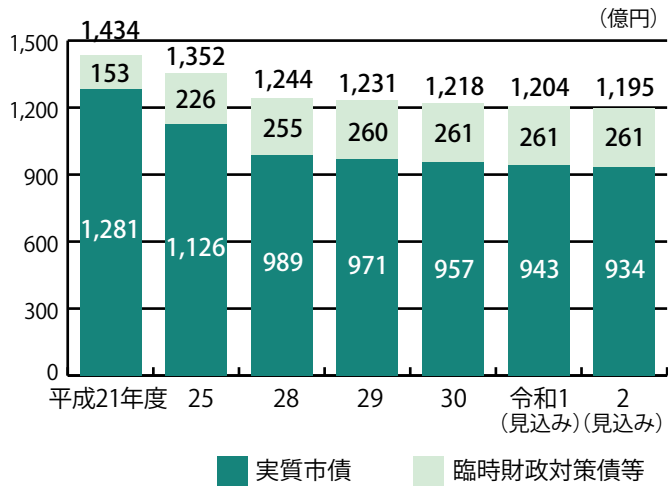
病院や水道など、料金収入を集めて民間企業のように事業収益で運営する事業が企業会計です。

会 計 名	予算額	対前年比
水道事業	32億4,460万円	▲25.3%
下水道事業	86億9,290万円	▲0.4%
病院事業	99億7,100万円	5.9%
合 計	219億 850万円	▲2.6%



市債残高の状況

小松市の市債残高は、市債発行の抑制や繰り上げ返済などにより、平成21年度から減少に転じています。
令和2年度は、全会計で約9億円の改善を見込んでいます。ピークであった平成21年度からの累計では239億円改善の見込みです。
また、国の地方交付税の財源不足により地方自治体に発行させる臨時財政対策債を除く実質市債ベースでは、約339億円改善する見込みです。
今後も引き続き、市債残高削減を通じて財政の健全化を進めていきます。



大切な節目(市制80周年、東京オリパラ2020、新幹線小松駅開業)をチャンスに

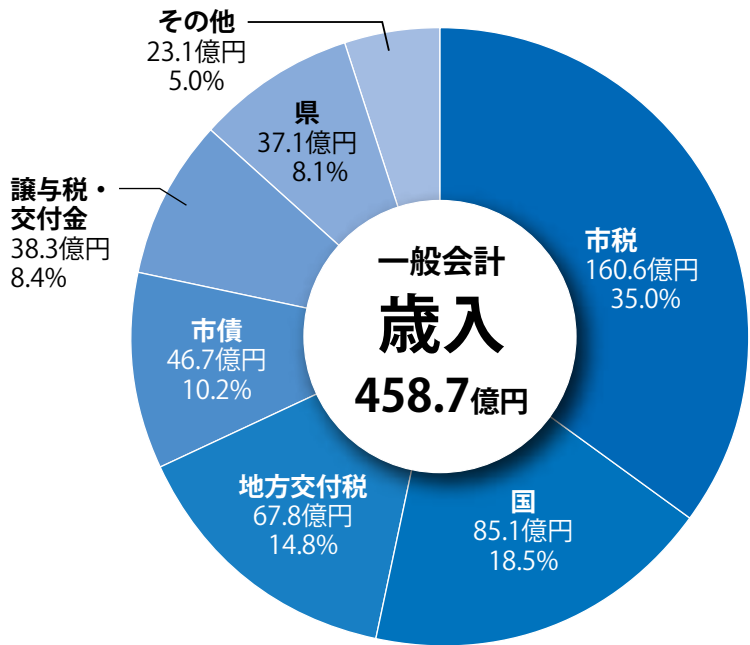
北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」への変革

令和2年度 小松市の予算

これから小松市には市制80周年をはじめ、東京オリンピック・パラリンピックや北陸新幹線小松駅開業など、「国際都市こまつ」として飛躍する大きなチャンスが訪れます。
10年先、20年先のまちづくりを未来志向でデザインし、皆さんとの共創で取り組んでいきます。

一般会計

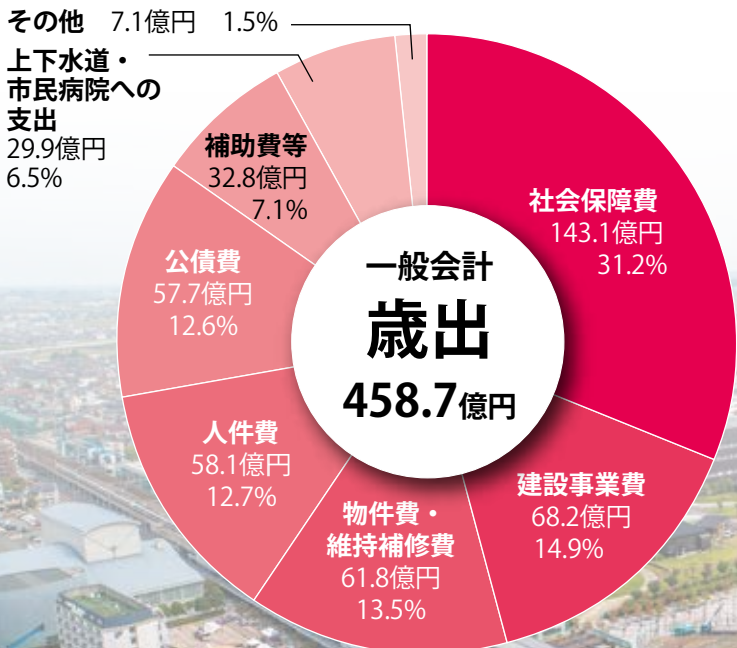
全会計総額 997.8 億円



◆歳入の特徴

市税は、税体系の見直しに伴う法人市民税率の減少などにより6.6億円減の160.6億円(前年比△4.0%)となる一方、地方消費税と新設の法人事業税交付金で6.5億円の増となっています。
地方交付税は、幼児教育・保育無償化の費用などが追加され、臨時財政対策債を含む実質ベースで4.0億円の増となっています。

臨時財政対策債…本来、地方交付税としてもらえるはずのお金について、国の予算不足の穴埋めとして市が発行する市債



◆歳出の特徴

社会保障費は、幼児教育・保育無償化をはじめとする子育て支援の充実のほか、障がい者、高齢者福祉の拡充など、6.0億円増の143.1億円(前年比+4.4%)。投資的経費(建設事業費)は、松東みどり学園や松東地域こども園、のしろ児童館など子供・子育て施設の建設などにより4.9億円増の68.2億円となっています。公債費(借金の返済費)は、市債残高の圧縮により、1.2億円減の57.7億円(前年比△2.0%)となっています。



ICT教育の充実



リニューアルする勤進帳ものがたり館



やさしさあふれる共生社会づくり



サンリオスペシャルパレード



◀新幹線小松駅開業プロモーション

令和2年度 小松市の予算

—主な施策の概要—

4 ふるさと小松を未来へつなぐ —PASS THE BATON—



○こまつ芸術劇場うらら内に歌舞伎展示コーナーを設置	1,850万円
○「日本博～GO FOR 工芸～」参加、KUTANismの推進等	3,290万円
○安宅公園リニューアル整備費(休憩施設、屋外デッキ、トイレ等の整備)	8,000万円
○小松市制80周年・能美市新博物館開館記念合同シンポジウム	200万円
○小学5・6年生、中学1年生に1人1台タブレットPCを配置	3億200万円
○市立高校新1年に高大連携クラス(1クラス)を新設し、英語・数学を強化	180万円
○小松市音楽賞、ヒルズ科学賞の新設	40万円
○松東みどり学園整備	8億1,830万円

5 新時代、新技術を。 国際都市こまつへの変革



○野菜総合選果場新設への補助、ブランド品目の生産拡大への補助等	2億9,300万円
○小学生を対象にジュニア防災士を育成	190万円
○女性消防士活躍推進のため女性専用室・シャワー室の整備	550万円
○避難所の電源対策として電気自動車購入	400万円
○段ボールベッド・仕切りセット等、避難所備蓄品の充実	300万円
○住宅の安全向上のため浸水対策工事(盛土等)を支援	250万円

6 国補正予算関連 (令和元年度3月補正)



○教育環境の充実 (全小中高校に高速LANを整備、符津小学校大規模改修等)	7億7,490万円
○防災・減災対策、社会資本の整備 (住吉橋改修、道路安全対策、通学路・消雪施設・幸八幡線の整備等)	2億9,361万円
○農林水産業の基盤整備 (北谷線の開設、広域基幹林道安谷線の整備)	6,327万円

1 80周年と 新幹線小松駅開業に向かって

○80周年オープニング記念事業の開催	300万円
○80周年記念ソーデーウオークの開催	700万円
○80周年記念式典の開催	440万円
○小松駅東西広場・駅プロムナードの設計、プロジェクションマッピング整備等	9,400万円
○新幹線小松駅開業に向けたプロモーションの展開	1,500万円
○(仮称)こまつ地域交通プランの策定	900万円
○安宅新地区土地区画整理	11億3,700万円〔債務負担行為 6億2,000万円〕

2 「学び」と「共創」のチカラを高め、SDGs未来都市をリード —東京オリパラを追い風に—



○SDGs未来都市の推進(第3次環境プラン、水郷アクションプランの策定等)	1,340万円
○Satoyama Artist College こまつ観音下(旧西尾小学校跡地)の整備	5億6,400万円
○東京オリパラ推進(聖火リレー、記念モニュメント制作、パブリックビューイング等)	3,120万円
○ローズガーデン整備等フローラルで東京オリパラ花のおもてなし	3,680万円
○小中学校33校、こども園など40園で東京オリパラ記念植樹	170万円
○S・フォーティーンコートナイター照明増設等	5,460万円
○こまつドームコミュニティ棟改修(設計)	1,550万円

3 さらに笑顔あふれる小松市へ —住みよさTOP10へ—



○金野保育所・瀬領保育所を統合したこども園整備	2億3,750万円〔債務負担行為 2億400万円〕
○のしろ児童館の建て替え	3億1,310万円〔債務負担行為 3億5,030万円〕
○保育支援員配置(保育業務、周辺業務)への補助、保育士の家賃助成	7,060万円
○予防接種(ロタウイルス定期予防接種化)	3億1,870万円
○輝く女性の健康づくりレディスプランの実施	180万円
○社会福祉協議会内に(仮称)障がい者相談支援センターの窓口を設置	3,070万円
○医療的ケアの必要な児童への訪問看護による家族負担軽減等	5,960万円
○日本語初期指導センター開設による外国人児童生徒の支援等	820万円
○地域協議会活動支援(重点テーマの拡充)、はつらつ環境整備(ベンチ設置場所の拡充)	3,040万円
○自動ブレーキ搭載など安全運転サポート車購入への補助	300万円
○市民病院訪問看護ステーションの開設	3,370万円